

第22回群馬県レディースゴルフ場対抗競技大会

■開催日：平成29年9月28日(木)

■開催コース：グリーンパークカントリークラブ 東・西コース

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。本書に記載のない事項や追加変更がある場合は、競技規定やプレーヤーへの通知文書または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は2打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格（ゴルフ規則177ページ参照）

『公認球リストの条件・規則付I(B)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付I(B)1a』（ゴルフ規則176ページ参照）

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. 競技の成立

悪天候等により、プレーヤー全員が18ホールを消化できない場合は9ホールに短縮して競技成立とする場合がある。

7. ホールとホールの間での練習禁止（規則7.2注2）

『規則付I(B)5b』（ゴルフ規則181ページ参照）

但し、練習グリーンに於けるパター練習はできる。

8. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則6-8b、c、dに従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則33-7に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則6-8b注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返し鳴らして通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
コース内の黄黒の縞杭を超えた球はすべてアウトオブバウンズとする。(ラインOB)
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. ラテラルウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラルウォーターハザードは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は、線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
排水溝、集水枡、目土箱、樹木の支柱、カート道路及びコース内に敷き詰められた通路及び排水路の一部を成す小石(砂利)等の構築物、ヤード表示杭
5. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーやパートナー、相手、またはそのいずれかのキャディや携行品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーは規則 18-2、18-3、そして規則 20-1 に規定されている通りにリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が、風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースされる事になる。
6. 目的外のグリーン
予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
7. コールオンについて
ショートホールにおいて後続の組がティーインググラウンドで待っている時には、前の組との間隔を考慮したうえで全員の球をマークして拾い上げプレーヤーの判断で後続の組にティーショットを打たせる事が出来る。このとき後続組の各プレーヤーは自分の球が先行組のプレーの妨げになったり援助になるときは、球を拾い上げて良いと許可を与えたものとする。
8. ローカル・ルールの変更又は追加の時は、クラブハウス内に掲示する。

注意事項

1. 競技の条件4項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とする。
2. 競技委員会は、競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱を限度とする。
4. 距離測定のための機器の使用を禁止する。
5. コース内は携帯電話の使用を禁止する。(但し、競技委員は緊急時に使用する事がある)
6. 選手の変更は、組合せ送付後は開催コースへ届け出る。当日はスタート時間30分前までにフロントへ届け出ること。
7. アプローチ、バンカー練習場は使用禁止とする。